

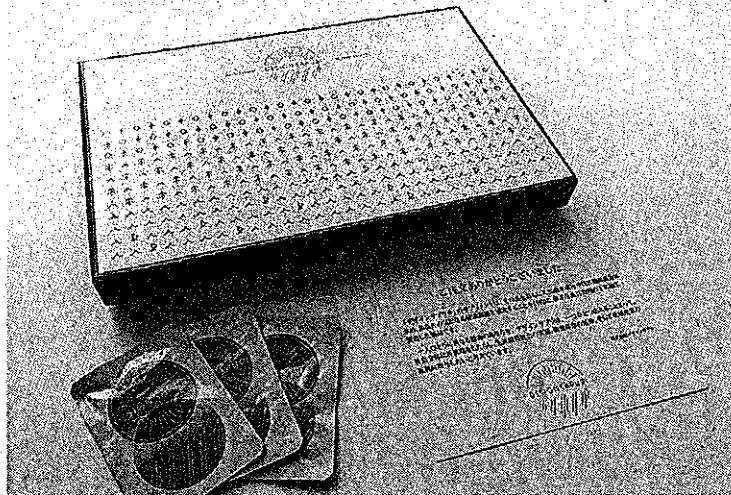
活力

個人用サプリメントの販売

ミズ・バラエティーなどが新事業

総合物流サービスのミズ・バラエティー(今泉、栗田佳幸社長)と傘下のサプリメント、デザインサプリ(東京都、県下でドラッグストアを展開する杏林堂薬局はこのほど、健康状態

に応じたサプリメントを販売するサービスを始めた。同事業は、顧客が日常生活についてのチェックシートを記入し、杏林堂薬局の管理栄養士が食事面の聞き



販売されるサプリメントのパッケージデザイン (提供)

取りや相談を受けて必要な栄養素を判断。生活習慣の改善策などをアドバイスした上で、デザインサプリが開発した35種類のサプリメントから顧客に応じて提案する。希望者には1日分ごととに袋詰めした1カ月分を店頭もしくは自宅配送で販売。ミズ・バラエティーでは包装と配送を担当しており、栗田社長は「健康相談から自宅配送までを行う事業は全国初。健康のプロである管理栄養士との相談から、病気を予防するために生活習慣を見直すきっかけになれば」と期待する。事業は、社会的な健康意識の高まりや各個人に合わせたサプリメントを販売したいと

の思いから約5年前に構想に着手。昨年にはサプリメントの開発やマーケティングを行うデザインサプリを立ち上げるなど、準備期間には3年間を費やし、ことし8月の事業スタートにこぎつけた。現在サービスを提供しているのは、浜松市、静岡市、掛川市の杏林堂薬局3店舗のみだが、本年度中には県内60店舗に規模を拡大する予定。富士市内の店舗でも販売が検討されている

栗田社長が掲げる最終目標は「サプリメントを飲まなくてもいいような生活習慣を身に付けてもらうこと」と、管理栄養士との相談を通じた地域コミュニティづくりを全国に広げること。「サプリメントは健康を補完する一つの要素であり、生活習慣で改善できるからその方がいい。症状の原因が生活習慣にあるのなら、管理栄養士がアドバイスをしつかりと

りとすることで相談者の生活をトータルで考え、健康をサポートする仕組みになれば」と展望した。その上で、「サプリメント購入者なら、定期的に販売するタイミングの相談で体調や生活習慣の変化を感じてもらい、買い物客にはサプリメントに関係なく、気軽に相談してもらうことで自身の健康について考えるきっかけにしてもらいたい」と思いを語った。